

学びの向上さいたまプラン（概要）

1 プランの目標

さいたま市教育委員会では、平成20年3月に「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむことを基本理念とする「さいたま市学校教育ビジョン」を策定した。

「学びの向上さいたまプラン」は、「さいたま市学校教育ビジョン」に位置付けられたプランであり、さいたま市立小・中学校児童生徒の「確かな学力」の向上を図ることを目標としている。ここでいう「確かな学力」は、次のように定義する。

- 基礎的・基本的な知識・技能
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- 学習意欲

本プランの施策の指標として、全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査等を活用する。

2 プラン推進に係る市及び国の状況等

(1) さいたま市の児童生徒の学習状況

○平成27年度実施の全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査

- ・平成27年度全国学力・学習状況調査の結果（さいたま市・全国の平均正答率）

	小 6					中 3					（%）
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	
さいたま市	72.1	68.1	76.2	46.5	62.9	79.3	69.4	68.1	45.8	55.8	
全国(公立)	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0	

- ・平成27年度さいたま市学習状況調査の結果（各教科の平均正答率）

学年	小 3		小 4		小 5				小 6				（%）
教科	国語	算数	国語	算数	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科	
平均正答率	69.1	81.7	75.8	75.6	59.4	63.8	68.7	61.4	58.5	65.2	69.8	58.0	

学年	中 1					中 2					中 3					（%）
教科	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語	
平均正答率	63.7	56.0	63.0	57.0	69.4	67.8	54.6	57.6	50.1	62.5	55.2	54.9	46.1	51.5	56.0	

※中3は抽出学級の集計結果（平均点）となります。

- ・「将来の夢や目標を持っている。」「学校に行くのは楽しいと思う。」「自分にはよいところがあると思う。」などの質問項目で、小学校、中学校どちらも、全国と比べて肯定的な回答の割合が高い。

(2) 教育指導に係る国の動向等

○学習指導要領の改訂

- ・平成28年度内の中央教育審議会の答申を受けて、次期学習指導要領が告示される予定である。

○国際的な学力調査の結果（TIMSS2011、PISA2012）

- ・算数・数学、理科について、「勉強が楽しい」と回答した小学生、中学生の割合は、前回調査と比べ増加しており、特に、小学生の理科は前回調査に続き、国際平均を上回っている。一方、中学生は数学、理科ともに前回調査に続き、国際平均よりも低い。（TIMSS2011）
- ・我が国の子どもたちの学力は、全体としては国際的に上位にある。また、下位層の割合が減少し、上位層の割合が増加している。（PISA2012）
- ・数学に対する興味・関心をもつ生徒や数学の有用性を感じる生徒の割合は、2003年に比べると有意に増加している。（PISA2012）

3 プランの構成

(1) 施策

本プランは、教育委員会による施策を体系化し、次の3つを柱として構成する。

- 「指導内容・方法の工夫改善」
- 「教員の指導力の向上」
- 「教育条件・教育環境の整備」

2本の施策の柱「教員の指導力向上」「教育条件・教育環境の整備」を基盤に、「指導内容・方法の工夫改善」を推進する。

(2) 重点事業

プランを構成する事業の中で、「学力の向上」に強く関連する次の事業を平成28年度の重点事業として展開する。

- 「さいたま市小・中一貫教育」の推進
- 全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査等の活用
- 基礎学力定着プログラムの推進
- グローバル人材の育成に向けた英語教育の推進
- 指導力の向上に係る調査研究の活用

